

〈一般公開用概要〉

全体を閲覧したい人や詳しく知りたい方は下記まで
成瀬 / takanaruse@gmail.com

第4回 レコセラを使った サービス可視化分析の集い

東京大学大学院
成瀬 昂

[日本語] <https://takanaruse.com/>
[英語] <https://takanaruse.com/en/>



ディスカッションメモ(一部)

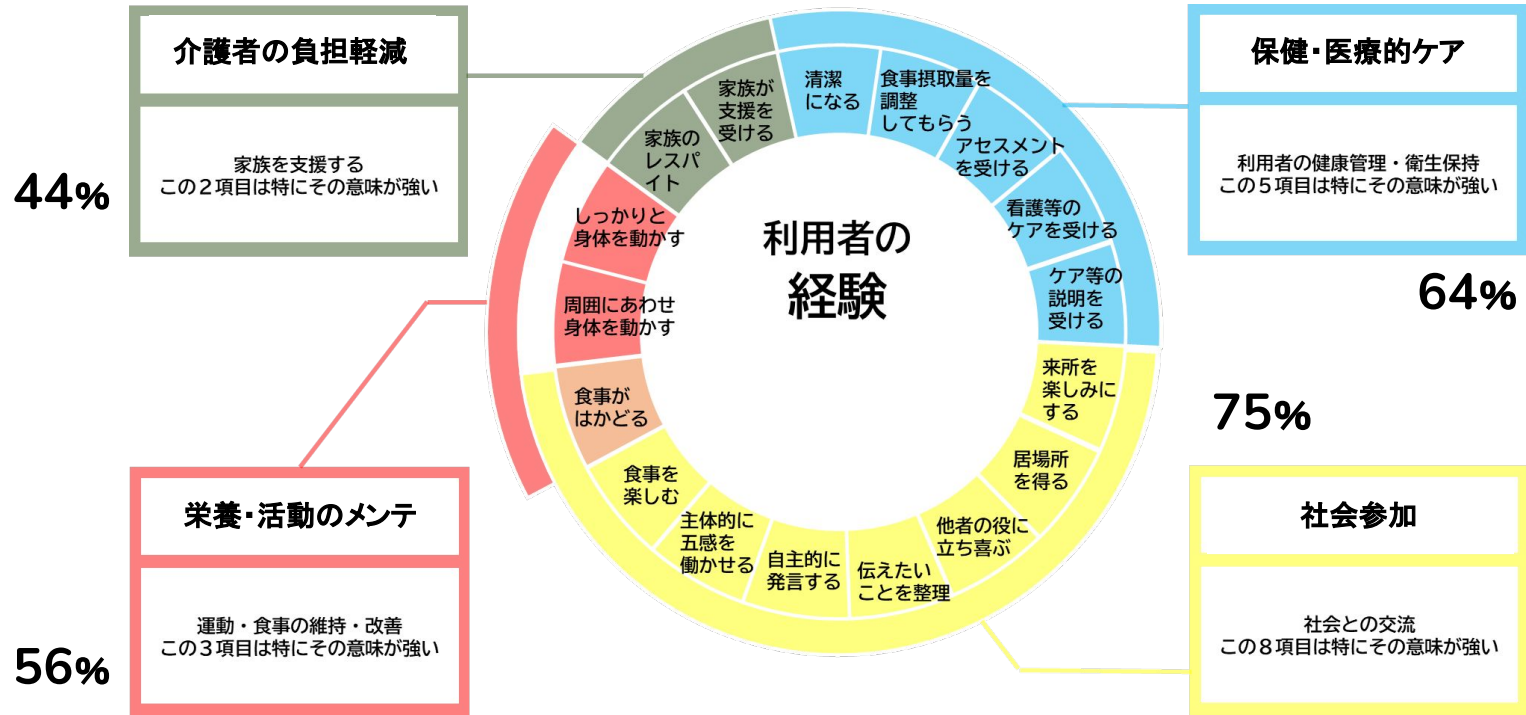
社会交流の記述について

- ・「社会交流」とくっってしまうとそこに専門性や職員の配慮・ケアが見えなくなるが、やはり注目したい現象
- ・社会交流にもいろいろある、人の中にいればいろんな反応がある、それを丁寧に整理してもらいすっきり
- ・自己憐憫のような発言はよく耳にするし、その都度、その場の雰囲気をその方と共有することでケア

社会交流に関して「気になったこと」「こんなことをこぼしていたよ」を記録する仕組み欲しいかも

- ・フォーマルな記録の枠組みに乗りにくいスタッフが間で口頭で共有するようなエピソードがある
- ・拒否的な発言でも「言い方や表情」によっては肯定的に解釈することもあり、そういう微細な気づきは共有したい

利用者の75%が社会参加を目的に来所



デイサービスのロジックモデル案(概略)



滞在中の社会交流とそこでの経験

要介護フレンドリーな場を堪能する
要介護高齢者フレンドリーな交流機会を堪能する

安心、話が合う、元気である、楽しい、
秘密厳守してくれる、ぱりっとする

新しい出会いで世界を広げる
生活スタイルの拡張につながる新しい出会い

友達、趣味、目標、自分の可能性
リハビリの手応え、まだまだがんばるぞ

変化に戸惑い自己防衛する
セルフイメージの更新に伴う混乱への自己防衛

私なんて、死にたい、マウントとる
あの人より私はまだまとも、私が変かも

滞在したくないと嫌に思う
粗悪な環境で嫌な思いをする

時間を潰してる、つまらない、慣れない
暴力・暴言を受けた、あの人を嫌い